



国際連帯の力で、辺野古新基地・琉球弧の軍事化を止めよう！

- 日時 7月30日(日) 午前9時30分～12時
- 会場 横須賀市民文化会館(大ホール)
- 主催 ZHAP(ZENKO辺野古反基地プロジェクト)
- Zoom オンラインでもつなぐ予定です。 ■連絡先 日南田(090-8602-4232)



呼びかけ

5月に開催されたG7広島サミットでは、核武装による威嚇体制である核抑止とウクライナ軍事支援の強化が宣言され、東アジアでは「台湾有事」、対中国新冷戦が煽られています。岸田政権は昨年末の軍事三文書の改訂で今後5年間で43兆円という軍事費2倍化、敵基地攻撃能力の保有へと突進し、沖縄・琉球弧(南西諸島)へのミサイル配備、軍事要塞化を強行しています。また東アジアでの日米韓合同軍事演習に加え、6月12日からドイツで実施の NATO 空軍大演習習エアディフェンダーに航空自衛隊がオブザーバー参加するなど、ウクライナ戦争に乗じて、東アフリカジブチの自衛隊基地を拠点として中東、アフリカ、ヨーロッパ地域への軍事的介入も狙っています。

ZHAP(ZENKO 辺野古反基地プロジェクト)は2021年1月にスタートして以来、DSA(アメリカ民主主義的社会主義者)との国際連帯で、辺野古を止めろのキャンペーンを広げてきました。米国側に辺野古新基地問題を広げるために、DSA 国際委員会と2度のオンラインパネルを開催、昨秋からは OEJP(沖縄環境正義プロジェクト)の書簡運動を共に進め、40名以上の DSA 地方議会議員の賛同を集めました。そのようなキャンペーンの広がりによって、今年3月の玉城デニー沖縄県知事の訪米時に DSA のアレクサンドリア・オカシオ＝コルテス米下院議員と知事の対面での面会が実現しました。ZHAP 一次署名は、国内外から集まった9007筆を AOC の事務所に届け、連邦議会議員に賛同を広げるための力にしてもらっています。先日7月3日には、YDSA が ZHAP をどう広げるかのオンラインセミナーを開催するなど、さらに米国内で若者の間にもこの問題を広げてきています。

本分科会では、琉球弧、薩南諸島、さらには日本全国の軍事化が急速に強まり東アジアに軍事的緊張が煽られる中で、「台湾有事」NO！ 沖縄戦を繰り返すな！ 国際連帯で琉球弧の軍事要塞化、辺野古新基地を止め、対話で平和を！」の声をどう国際的に広げていくかを、国内外のゲストと共に討議し、運動方針を確立したいと思います。多くの仲間の皆様のご参加をお待ちしています！

第一分科会に参加される
海外ゲスト・国内ゲスト



サミール・アディルさん
イラク労働者共産党書記長



ジェラルド・ダルボンさん
DSA 国際委員会



上間芳子さん
沖縄平和市民連絡会